

流域下水道 佐波処理区 幹線管渠整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

快適な生活環境づくりに向け、
汚水処理人口普及率を向上させるため下水道管を
つくります地元
の声

- ・伊勢崎市の汚水処理は遅れているので、早く下水道を整備してほしい。(地域住民)
- ・単独浄化槽が寿命なので、すぐに下水道につなぎたい。(地域住民)

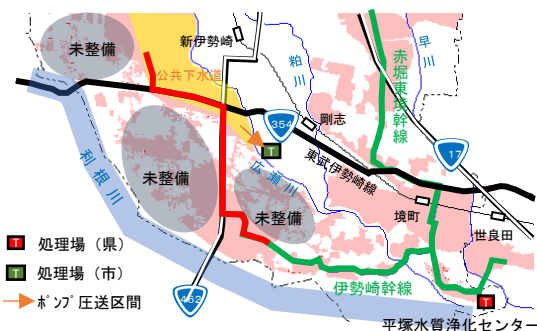
事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市境平塚ほか
- 事業内容：管渠築造延長 12,770m
管径 800mm～1,100mm

■ 事業期間：平成21年度～

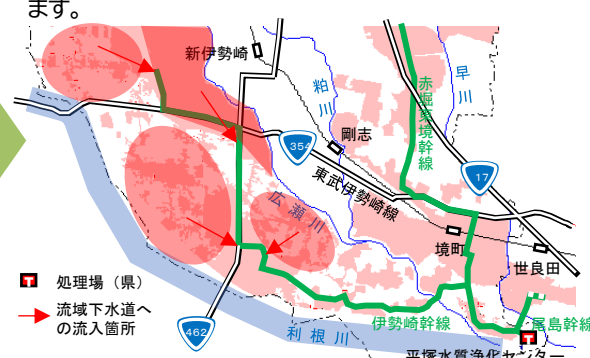
事業前

- ◆ 下水道が未整備の区域があります。
- ◆ 公共下水道の一部は、ポンプ圧送により広瀬川を横断させているため、維持管理コストがかかっています。

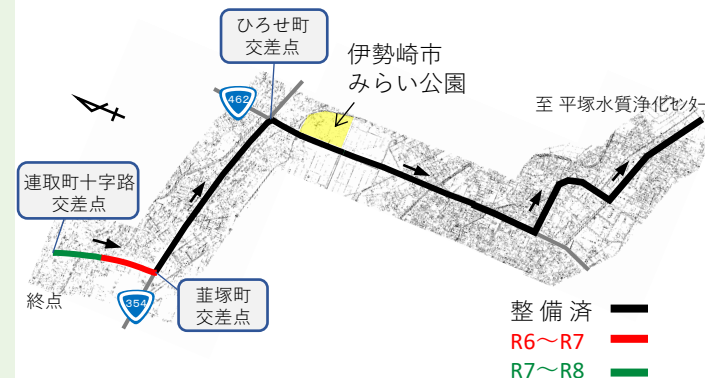


事業後

- ◆ 幹線が整備されることで、下水道整備区域が広がり、汚水処理人口普及率の増加が見込めます。
- ◆ 公共下水道の一部を流域下水道に切り替えることで、自然流下の区域が増えて、効率的な汚水処理が可能になります。



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は管渠築造
工事を実施します。

成果を示す項目

実施前

実施後(目標)

下水道整備済人口(佐波処理区)	17.7千人(R1)
下水道整備進捗率(佐波処理区)	13.7%(R1)

下水道整備済人口(佐波処理区)	36.4千人(R9)
下水道整備進捗率(佐波処理区)	29.5%(R9)

※下水道整備進捗率…下水道整備済人口/下水道整備の全体計画区域内人口

事業のすすみ具合

事業開始●

●事業完了